F-10 手段的価値の序列に関する一考察(才之報)

1-トルダム清心女子大家政 加勢川 堯

I. 価値の序列についての基本的事項

1. 価値には、①本質的価値および、②手段的価値がある。
2. 価値は生活主体者自ら生活事情に依りてえらびとらぬはずではない。

II. 「意識調査」にみる価値の序列について

いわゆる「意識調査」の意識指標項目を整理すれば、価値(目的)に関するもの、価値表現のための手段(例 金銭、物的施設)に関するものの混在がみうけられることが多い。また、本質的価値と手段的価値の混在も多いといえよう。このような調査の意識の序列から、「価値」序列を求むることは必ずしも適当といえないであらう。

III. 若干の提言

1. われわれは家政学的思考によるインパクト、アウトプットの観点から価値を位置づけ、つくり、目的、手段体系のもとに意識(価値)を把握する必要がある。
2. この立場に立つ、われわれの1事例調査——岡山市内某工場(付近に工場群を控える)・昭和47年——から、〈健康・安全〉を1セットする価値(この場合、手段的価値に限らざるが)がトップを締めたることを明らかにした。
3. 生活目的としての「価値」内容を究明するため、家政学徒自身による意識に関する実証的研究を展開する必要があると考える。